

## Pleskとは？



Pleskは、Odinが提供するサーバ統合管理ソフトです。Pleskを利用することで、ウェブサイトやメールなどの管理をウェブブラウザ上で直観的に行うことができます。サーバのコマンドライン操作を知らないユーザでも簡単に管理が可能です。

Pleskの詳細なご利用方法や機能は、Parallels社のホームページを参照ください。

<http://www.plesk.com/jp/>

## Pleskのセットアップ手順

### Plesk VMを作成する

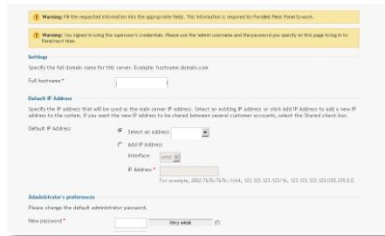


操作マニュアル (<http://www.cloudn-service.com/guide/manuals>)を参照し、Cloud<sup>n</sup> ポータルから

Plesk VMを作成します。VM作成時のステップ2でテンプレートを選択する際に、オフィシャルテンプレート中のPleskを必ず選択してください。また、セキュリティグループの設定では、Plesk用に特別な設定が必要です。詳細な設定内容は、次ページを参照してください。

## Step 1

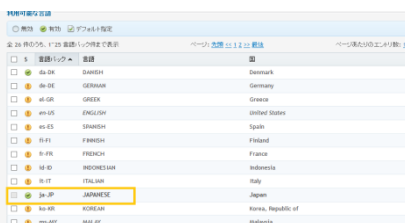
### セットアップする



<https://<VMのIPアドレス>:8443> でVMにアクセスし、ユーザ名root、VM作成時に確認したパスワードでログインします。画面の指示に従い、メールアドレスや新しく管理者のパスワード、連絡先情報を設定します。設定中に表示されるドメイン名やIPアドレスを変更する必要はありません。

## Step 2

### 日本語表示にする(Japanese + Englishのみ対応)



パネルのServer(サーバ)タブをクリックし、Panel Appearance(Pleskの外観)メニューの、Languages(言語)を選択します。Available languagesの中で、左に示すようにja-JpをEnableに変更します。続けてMy Profile(マイ・プロフィール)タブをクリックし、Panel PreferencesのPanel languagesをJAPANESE(Japan)に変更すると、パネルの表示言語を日本語に変更できます。

## Step 3

## セキュリティグループの設定

Pleskで使用可能なすべてのポートを右表に示しますので、セキュリティグループの作成時に追加してください。すべて設定しても構いませんが、ご利用になるサービスに従い、必要なポートのみ設定することをお勧めします。ただし、太字で示すポートはPleskパネルへのアクセスに必要となるため、必ず設定してください。

右表に示す開けるべき（開けておいたほうが望ましい）ポートおよびプロトコルは、受信規制に関するものでございます。必要に応じて、送信規制については、原則、特に設定する必要はございません。万一、なんらかの設定をする必要がある場合は、ライセンス更新時や、パスワード再設定時に必要となるポートについて開けておくように設定してください。

Port	Protocol	Service
20	TCP	ftp-data
21	TCP	ftp
22	TCP	ssh
25	TCP	smtp
53	TCP	dns
53	UDP	dns
80	TCP	http
106	TCP	poppassd
110	TCP	pop3
113	TCP	auth
143	TCP	imap
443	TCP	https
465	TCP	smtps
587	TCP	mail message submission
990	TCP	ftps
993	TCP	imaps
995	TCP	pop3s
3306	TCP	mysql
<b>5224</b>	<b>TCP</b>	<b>plesk-licence-update</b>
5432	TCP	postgres
<b>8443</b>	<b>TCP</b>	<b>plesk-https</b>
<b>8447</b>	<b>TCP</b>	<b>autoinstaller</b>
<b>8880</b>	<b>TCP</b>	<b>plesk-http</b>
9080	TCP	tomcat

## Plesk12 エディション

Plesk12をご提供させていただくにあたり、Cloud<sup>n</sup> では2種類のプランをご用意させていただきました。

(デフォルトでの言語の違いにより4種ではありますが、大きく「WebAdminEdition」と、「WebHostEdistion」の2種となります)

Parallels社の提供するエディションと、Cloud<sup>n</sup> で提供するエディションとの対比は次のとおりです。

Odin	パブリッククラウドサービス Cloud <sup>n</sup>
Web <b>Admin</b> Edition	Plesk (Web Admin Edition/English) with Cent OS 6.5 64-bit
	Plesk (Web Admin Edition/Japanese+English) with Cent OS 6.5 64-bit
Web <b>HOST</b> Edisiton	Plesk (Web Host Edition/English) with Cent OS 6.5 64-bit (100GBタイプ)
	Plesk (Web Host Edition/Japanese+English) with Cent OS 6.5 64-bit (100GBタイプ)

Plesk 12 の各エディションに含まれる機能における詳細は、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.odin.com/jp/products/plesk/plesk-editions/>

## 注意事項

- Cloud<sup>n</sup> ポータルからVM (plesk12) の「テンプレート」および「スナップショット」の作成自体は可能でございます。しかしながら、pleskライセンスの制約上、取得されましたテンプレートやスナップショットを用いて新たにVMを作成いたしましても、正常にご利用することができません。

- Plesk12のご利用時に関するPleskのすべての操作／設定等は、原則、サポート外とさせていただきます。お客様ご自身におかれまして操作をお願いさせていただきます。なお、操作における「Plesk12操作マニュアル」といたしましては、Pleskコントロールパネルにログインいただき、上部の「ヘルプ」の「ガイドを読む」をクリックしてご一読ください。または、

Plesk 管理者ガイド

(<http://download1.parallels.com/Plesk/PP12/12.0/Doc/ja-JP/online/plesk-administrator-guide/>)

Plesk12 リリースノート

(<http://download1.parallels.com/Plesk/PP12/12.0/release-notes/ja-JP/parallels-plesk-12.0-for-linux.html>)

へのリンクを紹介させていただきます。

- VM作成時のデフォルト状態において、一部、すぐにご利用できる状態ではないアプリケーション／ツールがございます。コントロールパネルにログインいただき、「サーバ」タブの「ライセンス管理」および「アップデートおよびアップグレード」をクリックいただき現状をご確認ください。その後、必要に応じてお客様ご自身におかれまして、ライセンスの調達ならびにそのインストール作業（ライセンス不要の場合においては、利用可能状態（ON）とする設定）をお願いいたします。

- ColdFusion
- Atomicorp 社 ModSecurity ルールを含むセキュリティコア
- CloudFlare 社 ServerShield